

2/23 五夜

ロシアによるウクライナ侵略開始から24日で一年です。他国への侵略は、国連憲章と国際法が定めた「主権と領土保全の尊重」の原則を離れたもので、世界の平和を危うくする暴挙です。ロシアはただ侵略をやめ、国連総会決議が求めた記時、完全・無条件撤退を実行しなければなりません。国际社会は、国連憲章と経済法規による外交努力を尽しましたが求められています。

虚偽の主張は通用しない

ブーチン・ロシア大統領は24日に行なった年次教説演説のなかで、「Uの戦争を始めたのは彼らの方だ」と、ウクライナの現政権や西側諸国の威脅から自國を守るためにかく出ししました。事実を

主張

ロシアの侵略1年

無視し、虚偽で固めた主張です。会で通用しない虚偽です。ウクライナや関係国との話し合いで打ち砕き、ウクライナに攻め入ったのはロシアにはかなりません。だからこそ国連加盟国での割合を超えて採択された総会決議がロシアの行為を国連憲章違反の侵略と非難し、国際的に認められました。しかしもつては虚偽です。

無条件で直ちに完全撤退せよ

たウクライナの全領土からの撤退を求めるのです。

ブーチン・ロシア大統領は以前からウクライナをロシアと一緒にみなして、主權を認めない特異な立場を公表していました。「すべての加盟140カ国、同月24日には国際安全条約を守るよう求めた決議を採成」（NATO）の拡大や除外・アジアでの新たな「サイル配備を擧げて、自ら引き起こした戦争を正当化しました。軍事的対決のエスカレートで対立と分断を世界に拡大させてしまうかもしれません。

ロシアに侵略をやめさせることで、二度と侵略を行わない保障を築くことが欠かせません。基礎となるのは、虚偽とみなすのが軍事同盟です。虚偽や武力行使を禁じた国連憲章です。虚偽となるのが軍事同盟です。

2022年3月24日にロシアの侵略を非難し撤退を求める決議を採成（NATO）の拡大や除外・アジアでの新たな「サイル配備を擧げて、自ら引き起こした戦争を正当化しました。軍事的対決のエスカレートで対立と分断を世界に拡大させてしまうかもしれません。

米国のバイデン大統領は20日の米国・韓国・日本・オーストラリア（ASEAN）を中心とした対話と協力で平和を築く歩みが進められています。ロシアのウクライナ侵略を公言していました。ロシアのウクライナ侵略を国連憲章のもとで解決する議論が、北大西洋条約機構（NATO）でも岸田政権の大軍拡を許さないただかが義務です。

あつた。Uの決議は、ウクライナを主導しました。

国連安全保障理事会で拒否権を持つ常任理事国による侵略戦争と、政治的対話による平和的

解決の努力を各國、国際組織が呼びました。世界がこの方向に對して、たの一年間、多くの国連加盟国が結束し、総会の場で国連憲章のもとでの解決の道筋を見いだすことが可能です。

ブーチン大統領は21日の演説で、NATOの拡大や除外・アジアでの新たな「サイル配備を擧げて、自ら引き起こした戦争を正当化しました。軍事的対決のエスカレートで対立と分断を世界に拡大させてしまうかもしれません。